

平成29年12月期 第3四半期決算短信[日本基準](連結)

平成29年10月31日

上場会社名 株式会社電算システム

上場取引所

東名

コード番号 3630 URL http://www.densan-s.co.jp/

(役職名) 代表取締役社長執行役員

代表者 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 田中 靖哲 (氏名) 近藤 登

TEL 058-279-3456

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日~平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四 半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	24,367	10.0	892	21.0	922	20.4	587	14.3
28年12月期第3四半期	22,161	4.7	737	10.7	766	12.4	513	24.4

(注)包括利益 29年12月期第3四半期 557百万円 (42.7%) 28年12月期第3四半期 390百万円 (13.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
29年12月期第3四半期	60.16	
28年12月期第3四半期	52.96	52.94

(2) 連結財政状態

(-) ~= MA N3 PX 17 (15)			
	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	27,791	9,011	31.8
28年12月期	44,991	8,613	18.8

(参考)自己資本

29年12月期第3四半期 8,830百万円

28年12月期 8,443百万円

2. 配当の状況

	年間配当金								
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計							
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭				
28年12月期		12.00		12.00	24.00				
29年12月期		12.00							
29年12月期(予想)				13.00	25.00				

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日~平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業和	営業利益		経常利益		こ帰属する 利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	33,700	11.0	1,170	3.9	1,180	2.0	675	7.7	1 คน เารา

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 期末自己株式数 期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期3Q	10,040,000 株	28年12月期	10,040,000 株
29年12月期3Q	264,154 株	28年12月期	296,554 株
29年12月期3Q	9,759,609 株	28年12月期3Q	9,702,390 株

(注)期末自己株式数及び期中平均株式数については、電算システム従業員持株会信託が所有している当社株式(28年12月期3Q 57,700株、29年12月期3Q 9,300株)を控除対象の自己株式に含めて算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1 .	当[四半期決算に関する定性的情報	2
	(1)	経営成績に関する説明	2
	(2)	財政状態に関する説明	2
	(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2.	四当	半期連結財務諸表及び主な注記	3
	(1)	四半期連結貸借対照表	3
	(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
		四半期連結損益計算書	
		第3四半期連結累計期間	5
		四半期連結包括利益計算書	
		第3四半期連結累計期間	6
	(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
		(継続企業の前提に関する注記)	7
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
		(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の改善が見られ、景気は緩やかな回復 基調が続きましたが、欧米の政治的リスクやアジアにおける地政学的リスクの高まりなどにより、先行き不透明 な状況となっております。

このような経営環境において、当社グループは、新しい価値の創造により、顧客に感動を、社員に夢を、株主に満足をもたらす経営理念のもと、さらなる業容の拡大と成長を志向し、継続的な営業努力と効率的な事業運営に努め、経営計画の達成を目指してまいりました。

各セグメント別の概況は以下のとおりとなっております。

(情報サービス事業)

SI・ソフト開発及び商品販売においては、株式会社ゴーガを前第4四半期連結会計期間より新たに連結の範囲に含めたことなどにより、グーグル製品をはじめとしたクラウド関連サービスの売上が順調に推移いたしました。また、介護事業所向けシステム販売、交通移動体向けクラウド型デジタルサイネージ販売、大手ゼネコン向け機器販売、地方自治体向けのシステム機器導入、エネルギー業向けの業務システム販売などにより売上が伸長いたしました。

以上の結果、情報サービス事業の売上高は123億7百万円(前年同期比10.9%増)、営業利益は4億44百万円(前年同期比75.1%増)となりました。

(収納代行サービス事業)

収納代行サービス事業においては、地方自治体を含む新規取引先の獲得が順調に推移いたしました。また、当第3四半期連結累計期間には、8月の休日の並び等の要因により月毎の伸び率に変動が多少見られたものの、期間を通しては概ね良好な結果となりました。また、スーパーマーケットやドラッグストアチェーン店舗向けの収納窓口サービスの導入店舗数も、ほぼ計画通りに増加いたしました。一方で当期計画しておりましたシステム基盤の東濃データセンターへの移行も予定通り完了いたしました。

以上の結果、収納代行サービス事業の売上高は120億60百万円(前年同期比9.0%増)、営業利益は4億67百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は243億67百万円(前年同期比10.0%増)、利益においては、営業利益は8億92百万円(前年同期比21.0%増)、経常利益は9億22百万円(前年同期比20.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億87百万円(前年同期比14.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して171億99百万円減少し、277億91百万円となりました。これは主に、投資有価証券が6億67百万円、前払費用が1億49百万円増加したものの、金銭の信託が175億43百万円、受取手形及び売掛金が4億38百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して175億97百万円減少し、187億79百万円となりました。これは主に、長期借入金が4億42百万円、賞与引当金が3億71百万円増加したものの、収納代行預り金が180億16百万円、買掛金が3億60百万円減少したことによるものであります。

なお、金銭の信託及び収納代行預り金は、収納代行サービス事業に係る預り金が含まれており、預り金の入出金タイミングの影響を受けたことにより減少しております。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して3億98百万円増加し、90億11百万円となりました。これは主に、利益剰余金が3億52百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期通期の連結業績予想につきましては、平成29年1月30日の「平成28年12月期 決算短信」において公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:十円)
	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5, 655, 401	5, 622, 206
金銭の信託	27, 738, 973	10, 195, 607
受取手形及び売掛金	4, 906, 446	4, 468, 330
商品	110, 909	163, 592
仕掛品	518, 100	588, 000
前払費用	628, 652	778, 101
繰延税金資産	62, 678	132, 531
その他	125, 537	95, 710
貸倒引当金	△500	$\triangle 424$
流動資産合計	39, 746, 199	22, 043, 655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1, 215, 438	1, 152, 468
土地	791, 098	791, 098
その他(純額)	766, 150	741, 545
有形固定資産合計	2, 772, 686	2, 685, 112
無形固定資産		
のれん	445, 524	408, 642
ソフトウエア	551, 591	623, 768
ソフトウエア仮勘定	158, 217	57, 234
その他	48	55
無形固定資産合計	1, 155, 382	1, 089, 700
投資その他の資産		
投資有価証券	931, 238	1, 598, 413
繰延税金資産	7, 640	8, 789
差入保証金	337, 768	322, 348
その他	40, 414	44, 233
貸倒引当金	△239	△629
投資その他の資産合計	1, 316, 823	1, 973, 155
固定資産合計	5, 244, 893	5, 747, 968
資産合計	44, 991, 092	27, 791, 623
27 H HI		2.,, 020

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2, 288, 587	1, 928, 260
短期借入金	20, 990	100, 000
1年内返済予定の長期借入金	241, 118	229, 128
未払法人税等	330, 615	171, 807
収納代行預り金	30, 504, 227	12, 488, 166
賞与引当金	3, 483	375, 147
役員賞与引当金	1,000	24, 111
株主優待引当金	50, 028	859
債務保証損失引当金	43, 619	62, 909
その他	1, 528, 690	1, 581, 881
流動負債合計	35, 012, 360	16, 962, 271
固定負債		
長期借入金	828, 624	1, 271, 285
繰延税金負債	39, 211	26, 312
役員退職慰労引当金	235, 729	246, 024
退職給付に係る負債	22, 409	24, 979
資産除去債務	12, 279	12, 393
その他	227, 051	236, 445
固定負債合計	1, 365, 305	1, 817, 440
負債合計	36, 377, 666	18, 779, 711
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 229, 213	1, 229, 213
資本剰余金	929, 069	929, 069
利益剰余金	6, 307, 977	6, 660, 311
自己株式	△182, 204	△106, 171
株主資本合計	8, 284, 054	8, 712, 421
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	161, 288	117, 603
繰延ヘッジ損益	$\triangle 1,630$	_
その他の包括利益累計額合計	159, 658	117, 603
非支配株主持分	169, 713	181, 886
純資産合計	8, 613, 426	9, 011, 912
負債純資産合計	44, 991, 092	27, 791, 623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

		(十四:111)
	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	22, 161, 076	24, 367, 879
売上原価	18, 617, 852	20, 365, 843
売上総利益	3, 543, 224	4, 002, 036
販売費及び一般管理費	2, 805, 804	3, 109, 585
営業利益	737, 420	892, 450
営業外収益		
受取利息	1, 542	496
受取配当金	7, 177	6, 959
持分法による投資利益	1, 408	1, 705
受取手数料	5, 921	7, 271
助成金収入	_	600
投資有価証券売却益	_	7, 989
為替差益	19, 495	7,721
未払配当金除斥益	344	253
その他	630	3, 295
営業外収益合計	36, 521	36, 290
営業外費用		
支払利息	1, 383	3, 036
有価証券運用損	2, 980	_
投資事業組合運用損	2, 660	2, 716
営業外費用合計	7, 024	5, 753
経常利益	766, 917	922, 987
特別利益		
補助金収入	112, 481	_
特別利益合計	112, 481	_
特別損失		
固定資産圧縮損	92, 572	_
特別損失合計	92, 572	_
税金等調整前四半期純利益	786, 825	922, 987
法人税、住民税及び事業税	353, 037	392, 102
法人税等調整額	△75, 791	△68, 915
法人税等合計	277, 245	323, 186
四半期純利益	509, 579	599, 801
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主 に帰属する四半期純損失(△)	△4, 219	12, 623
親会社株主に帰属する四半期純利益	513, 799	587, 177

(四半期連結包括利益計算書) (第3四半期連結累計期間)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	509, 579	599, 801
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△118, 758	△43, 685
繰延ヘッジ損益	_	1,630
その他の包括利益合計	△118, 758	△42, 054
四半期包括利益	390, 821	557, 746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	395, 040	545, 123
非支配株主に係る四半期包括利益	$\triangle 4,219$	12, 623

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

		報告セグメント 調整額			四半期連結 損益計算書	
	情報サービス 事業	収納代行サー ビス事業	計	· 調整領 (注) 1	計上額 (注) 2	
売上高						
外部顧客への売上高	11, 100, 848	11, 060, 227	22, 161, 076	_	22, 161, 076	
セグメント間の内部売上 高又は振替高	78, 526	20	78, 547	△78, 547	_	
計	11, 179, 375	11, 060, 248	22, 239, 623	△78, 547	22, 161, 076	
セグメント利益	253, 607	474, 136	727, 744	9, 675	737, 420	

- (注) 1. セグメント利益の調整額9,675千円は、報告セグメントが負担する管理部門費の配賦差額等であります。
 - 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書
	情報サービス 事業	収納代行サー ビス事業	計	· 神聖領 (注) 1	預益計算者 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	12, 307, 358	12, 060, 521	24, 367, 879	_	24, 367, 879
セグメント間の内部売上 高又は振替高	42, 742	31	42, 774	△42, 774	_
∄ †	12, 350, 101	12, 060, 552	24, 410, 653	△42, 774	24, 367, 879
セグメント利益	444, 150	467, 044	911, 195	△18, 744	892, 450

- (注) 1. セグメント利益の調整額 \triangle 18,744千円は、報告セグメントが負担する管理部門費の配賦差額等であります。
 - 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。